

高校生が取り組む民謡踊りの伝承

◆とても敦賀すきすき



NPO法人
「とても敦賀すきすき」
理事長 森野巧巳さん

昭和歌謡好きが高じて、
民謡踊りを残す活動を

2022年7月、敦賀の民謡を踊り
継ぎ、後世へ残していくことを目標に
活動する現・NPO法人「とても敦賀
すきすき」が立ち上がりました。代表
を務めるのは、福井県立敦賀高等学校
2年生の森野巧巳さんです。

小学生の頃から昭和歌謡のファン
だった森野さん。古いレコードを収集
するうち、市民にはおなじみの新民謡
「敦賀とてもすきすき」のシングル盤
を手に入れます。

「A面は小学校の体育大会で
踊ったこともあり聴き覚えがあ
りましたが、B面の『敦賀ばやし』
を聴いたのは初めて。和太鼓と
エレキのイントロが衝撃的で、
とてもいい曲だと思います」。

当時はレコードジャケットに
踊りの振り付けも記載されてお
り、それを見た森野さんの胸に



親子のフェスティバル2023



敦賀まつり「民謡の夕べ」にも参加

「せっかくのいい歌なのに、曲も踊り
もみんなに知られていない。今は僕が
好きで知っているけど、数十年後には
知っている人が誰もいなくなっていま
うのではないだろうか」という不安が
よぎりました。

このまま埋もれさせるのは文化的に
ももったいない。どうにか残したいと
いう思いが活動の出発点となりました。

踊りの先生の指導を受け、
NPO法人として活動

活動を始めるにあたり、「高校生が
民謡を踊ると、珍しさから注目しても
らえるのではないかと考えた森野さ
んが取り組んだのは、正式な踊りの習
得です。花柳流さくら会会主・花柳太
英大(なごやま)先生を訪ねて自らの思いを話し、
踊りの稽古をつけてもらうことに。同
級生にも声をかけ、興味を持った10名

のメンバーとともに正しくきれいな踊
りを継承できるように、稽古を重ねてい
ます。

当初は高校の部活動とすることも考
えていましたが、「踊りは市全体で受
け継いでいくべきもの」との思いから、
敦賀市の助成を受け、市民団体を設立。
今年7月にはNPO法人として福井県
の認証も取得しました。高校生が設立
したNPO法人としては県内初となり
ます。

「NPO法人という法人格があるこ
とで活動への意識も高まりますし、軽
い存在ではなくなります。継続するた
めにも団体を設立して良かったと思っ
ています」。

伝統文化でまちおこしをし
活気につなげたい

現在、「とても敦賀すきすき」の会員
数は17名。祭りやイベントで踊りを披
露したり、小・中学校へ出向いて踊りの
指導を行うなどの活動を行っています。
「指導に行くと、子どもたちは全力で
楽しんでくれます。民謡は楽しく踊れ、
人とのつながりもできる優れたツール
だと思っているので、今後はふるさと学習と
して取り入れてほしいと思っています」。

踊りが楽しい思い出になれば地元が



敦賀高校の学校祭「TonTeen2022」
での活動風景

好きになり、県外に出た人のUター
ン率もアップ。町の活気にもつながるの
ではないか、というのが森野さんの持
論です。

「これまで文化はお金にならないと
されて消えていったと思うんですが、
まちおこしに使えば、残りにくかつ
た文化を活用できます。敦賀でその成
功事例をつくりたいですね」と抱負を
語ります。今後も、敦賀まつりの民謡
踊りの夕べで踊りを披露するなど、地
元に根差した活動を精力的に展開して
いきます。

「文化を残していくのに大切なのは、
時代にどれだけあわせられるか。内容
を変えるのではなく、考えを変えれば
残していけると思っています」と森野
さん。若い発想と行動力で敦賀の伝統
文化を未来へつないでいきます。

●この記事に関するお問い合わせ
NPO法人「とても敦賀すきすき」

代表 森野巧巳さん
motakui1108@gmail.com